

I 図書館活動実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(前年度比)
予算				
図書館費（円）	365,180,000	397,394,000		
市民一人当たりの図書館費（円）	441.9	486.1		
資料費（円）	97,220,000	92,089,000		
うち図書購入費※1	84,500,000	80,000,000		
うち新聞・雑誌・追録等資料購入費	12,720,000	12,089,000		
市民一人当たりの資料費（円）	117.6	112.7		
オンラインデータベース使用料（円）	3,752,000	3,748,000		
資料収集				
蔵書点数（点）※2	1,896,466	1,901,484		
うち視聴覚資料蔵書点数	19,469	19,738		
市民一人当たりの蔵書点数（点）	2.3	2.3		
受入点数（点）※2	49,946	47,169		
除籍点数（点）※2	51,032	42,239		
蔵書更新率（％）	5.3	4.7		
雑誌タイトル数（点）※2	1,290	1,224		
オンラインデータベースタイトル数	9	9		
利用サービス				
開館日数（中央図書館のみ・日）	261	260		
職員数（人）	158	163		
来館者数（施設利用者数・人）	1,382,757	1,485,121		
登録者数（人）	332,126	332,315		
個 人（新規）	9,997	11,654		
うち大阪市相互利用	127	115		
うち泉北地域4市1町相互利用	174	174		
うち大阪狭山市相互利用	269	202		
団 体（新規）	20	12		
貸出点数（点）※2	3,339,511	3,534,782		
個人貸出点数※2	3,299,102	3,496,506		
うち協力貸出点数（貸出＋借受）	12,256	12,728		
うち大阪市相互利用	14,748	16,541		
うち泉北地域4市1町相互利用	9,474	10,858		
うち大阪狭山市相互利用※3	2,957	8,170		
団体貸出点数	40,409	38,276		
市民一人当たりの貸出点数（点）	4.0	4.3		
蔵書回転率（％）	1.8	1.9		
予約件数（件）※2	1,001,721	1,097,971		
市民一人当たりの予約件数（件）	1.2	1.3		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(前年度比)
複写枚数（枚）	37,564	37,760		
オンラインDB利用件数（件）	50,857	44,930		
HPトップページアクセス数（件）	2,454,367	3,316,871		
インターネット蔵書検索システムトップページアクセス回数（回）	2,257,961	2,402,919		
レファレンス受付件数（件）	61,394	61,929		
電子書籍貸出点数（点）	30,167	21,183		
電子書籍閲覧点数（点）	75,587	55,728		
電子書籍予約点数（点）	8,408	4,058		
Webでの貸出期限延長点数（点）	316,943	363,671		
Webでの予約点数（点）	809,850	907,818		
自動送信メールによる情報発信回数（回）※4	601,216	657,901		
市民の声の受付件数（件）	40	47		
講師派遣人数（人）	25	23		
地域資料サービス				
地域資料蔵書点数（点）	112,422	114,738		
地域資料レファレンス受付件数（件）	5,362	4,608		
デジタルアーカイブ点数（点）	1,377	1,703		
貴重資料の利用点数（点）	366	138		
行政資料受入点数（点）	24	624		
児童サービス				
児童書蔵書点数（点）※2	518,606	519,747		
児童書貸出点数（点）※2	1,284,220	1,436,996		
児童のみ登録者数（点）※5	29,241	24,591		
学校園への貸出点数（点）	24,462	17,282		
図書館見学来校数（校）	2	2		
定例のおはなし会・読み聞かせ会 実施回数（回）	77	220		
定例のおはなし会・読み聞かせ会 延べ参加人数（人）	593	1,603		
「子ども読書の日記念事業」等 学校訪問対象生徒・児童数（人）※6	1,314	121		
学校図書館訪問校数（校）	6	11		
ふるさと納税事業 親子で読書 貸出パック数（パック）※7	71	74		
「絵本から広がる家庭での親子ふれあい 事業」実施回数（回）	18	31		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(前年度比)
高齢者・障害者サービス				
対面朗読室利用回数（回）※8	12	1		
一カ月貸出延利用者数（人）	5,787	6,313		
点字図書館への貸出点数（点）	123	65		
大活字本蔵書点数（点）	4,953	5,001		
その他				
司書資格保有率（正規職員）（％）	91	89		
広報媒体掲載・情報提供件数（件）	99	107		
うち市広報掲載件数	88	105		
うち報道提供件数	3	0		
市民との協働事業実施回数（回）	165	315		
うち堺図書館サポーター倶楽部	151	287		
うち堺メモリー倶楽部	11	26		
うち堺図書館ビブリオバトル倶楽部	3	2		
市民との協働事業延べ参加人数（人）	782	874		
うち堺図書館サポーター倶楽部	693	777		
うち堺メモリー倶楽部	51	70		
うち堺図書館ビブリオバトル倶楽部	38	27		
市民主催事業参加者数（人）※9	95	97		

※1 ふるさと納税(図書館児童資料充実事業指定給付金)を含む。

※2 青少年センター及び人権ふれあいセンター・舳松人権歴史館・人権資料・図書室を含めた令和4年度の数値は以下のとお
蔵書点数： 受入点数： 除籍点数： 雑誌タイトル数： 貸出点数： 個人貸出点数：
予約件数： 児童書蔵書点数： 児童書貸出点数：

※3 令和2年11月1日から大阪狭山市との相互利用を開始。

※4 新着お知らせメール、予約割当通知、督促、返却期日通知などの送信数。

※5 14歳以下の登録者数。

※6 令和元年度～2年度は学校教育部との協働により東区の小学校4項で学校図書館チーム支援事業を試行実施。

※7 指定寄付金をもとに各年齢(0～5歳)が楽しめる絵本を購入。市内各地域で活動している子育てサークル等を対象として、20冊セットの絵本パックを貸出。

※8 新型コロナウイルス感染症対策のため、会議室等を利用した回数も含める。

※9 子ども夢基金助成事業による講演会等、市民が企画・運営した事業を指す。図書館は広報等に協力。

Ⅱ 各サービスの基本指針にかかる評価

「中央図書館基本指針～図書館サービス機能の向上のために～」(令和 2 年 7 月策定)において、「ひとを育み、共に学び、未来を創る力を市民とともに生み出す知の拠点」を基本理念とし、3 つのサービス基本方針と 9 つの具体的方向性を定めています。

基本方針(1)【育む力】
地域の知の拠点として、市民のくらしに寄り添い、役立つ資料・情報を提供します
サービスの具体的方向性
① 市民の読書環境の充実にさらに努めます。
② くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
③ さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
基本方針(2)【学ぶ力】
生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します
サービスの具体的方向性
④ 子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
⑤ 学校と連携して学びを支援します。
⑥ 青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
基本方針(3)【創る力】
「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します
サービスの具体的方向性
⑦ 堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
⑧ 市民交流の場を作ります。
⑨ 堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。

基本方針（１）【育む力】

地域の知の拠点として、市民のくらしに寄り添い、役立つ資料・情報を提供します

図書館は、ひとが幼いころから本に親しむ環境を整備し、豊かな心を育みます。さらに、本を読むことで知識を得たり、さまざまな資料・情報を使って調べることで、変化の激しい現代社会を生きる力を養う場でもあります。

図書館が収集し、提供する資料・情報は、市民のくらしに役立つものです。くらしの中でわからなかったり困ったりする課題について、図書館はその課題を持つ市民に寄り添い、資料・情報を活用することで解決する道のりを、具体的にわかりやすく提示します。

サービスの具体的方向性

- ① 市民の読書環境の充実にさらに努めます。
- ② くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
- ③ さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。

指標	単位	目標値	R02 数値	R03 実績	R04 実績	評価 (数値)	評価
職員研修参加延人数（館外研修含む）	人	180	163	265			
ブックフェア開催回数	回	410	412	439			
twitter投稿件数	件	600	466	499			
twitterフォロワー数	-	1,160	783	1,051			
「本の紹介・ブックリスト」ページ閲覧回数	回	246,000	269,844	223,517			
来館者アンケート調査「館内の過ごしやすさについて」	-	4.0	3.91	3.96			
来館者アンケート調査「全体の満足度」	-	4.5	4.04	4.05			

◎:達成度 100%以上 ○:達成度 80%以上～100%未満 △:達成度 50%以上～80%未満 ×:達成度 50%未満

令和４年度の実績について

●

基本方針（２）【学ぶ力】

生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します

図書館は、ひとがその生涯において、いつでも学びに行くことができる場所です。子どものころから図書館に親しみ、ライフステージに応じて図書館を使いこなしていくことで、豊かな学びを持続することができます。また、インターネットなどを通じて、いつでも・だれでも・どこからでも情報にアクセスできるようにすることで、さまざまな学習機会を支援していきます。

サービスの具体的方向性

- ④ 子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
- ⑤ 学校と連携して学びを支援します。
- ⑥ 青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。

指標	単位	目標値	R02 数値	R03 数値	R04 実績	評価 (数値)	評価
図書館主催事業開催回数 ※子ども対象の事業を除く	回	20	15	13			
子どもを対象とした図書館主催事業実施回数 ※定例行事は除く	回	45	20	36			
「保護者向け講座」平均参加率	%	80	0	33			
子どもの読書に関わる「ボランティア養成講座」延べ参加人数	人	200	0	99			
「ボランティアステップアップ講座」平均参加率	%	80	96	68			
電子書籍貸出者数	人	14,000	13,898	9,962			

◎:達成度 100%以上 ○:達成度 80%以上～100%未満 △:達成度 50%以上～80%未満 ×:達成度 50%未満

令和４年度の実績について

--

基本方針（３）【創る力】

「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します

図書館には、その地域の歴史・文化を伝える資料を残していく役割があります。市民が、堺の歴史文化を学び、世界に向けて発信していけるよう、資料を保存し、活用・発信の手法を整えます。

これからの図書館は、図書館の資料・情報を活用し学習した市民が、その成果を活かしたさまざまな活動、交流を図書館で行えるよう、支援していくことが求められます。

市民が自発的に活動、交流するために、図書館は必要な情報と環境を用意します。テーマに応じて専門家や専門機関、市の関連部局等とも連携し、市民とのマッチングを行うなど、市民交流の場をコーディネートします。

堺の歴史文化を次代に継承して活かしていくうえでも、多様な世代が交流する場を設けることで地域の記憶の継承に繋がります。

そして、資料・情報の活用をもとに、多様な人々が出会い、交流し協働することから新しい価値を生み出す場を作り、新しい堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。

サービスの具体的方向性

- ⑦ 堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
- ⑧ 市民交流の場を作ります。
- ⑨ 堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。

指標	単位	目標値	R02 数値	R03 数値	R04 実績	評価 (数値)	評価
マイクロフィルム化・デジタル化したコンテンツ数	点	3,000	790	1,045			
デジタル化地域資料閲覧回数	回	9,550	7,905	8,683			
堺市独自電子書籍公開件数	件	100	24	71			
郷土資料展記念講演会参加者満足度 「とてもよかった」「よかった」の割合	%	80	83	85			
「堺歴史文化市民講座」参加者満足度（平均） 「とてもよかった」「よかった」の割合	%	80	87	92			
家庭・地域文庫、公共施設、のびのびルーム 等への団体貸出点数	点	26,000	7,920	10,256			

◎:達成度 100%以上 ○:達成度 80%以上～100%未満 △:達成度 50%以上～80%未満 ×:達成度 50%未満

令和４年度の実績について

●

Ⅲ 令和4年度 各区図書館の取組み目標

令和4年度 堺区図書館の取組み目標

定量的指標	令和3年度	令和4年度	前年度比
貸出点数	696,007 点	点	%
区民千人当たり	4,698 点	点	%
予約点数	39,493 点	点	%
区民千人当たり	267 点	点	%
レファレンス受付件数	20,420 件	件	%
区民千人当たり	138 件	件	%
来館者数	367,847 人	人	%
区民千人当たり	2,483 人	人	%

※堺区人口 人(令和5年4月1日推計)

※中央図書館、堺市駅前分館、図書館カウンター堺東を含む

※図書館カウンター堺東は貸出者数を来館者数とみなす。

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題
・様々な世代や図書館を利用していない層にも情報を届けられるよう、広報力を強化する必要がある。 - また、広報する内容や時期、手段についても計画的に進める必要がある。 ・地域資料の電子化の推進と利用促進。 ・図書館カウンター堺東の事業検証と利用促進。

今年度の目標
中央図書館として以下の目標に取り組みます。 1. 広報力を強化するため、新たな広報手段を構築します。【育む力】 2. 電子書籍提供サービス(電子図書館)に、市広報、各種計画といった行政資料を堺市独自資料コンテンツとして収集・公開する仕組みを構築し、資料紹介等の広報を行い利用促進をはかっていきます。【創る力】 3. 障害者や日本語を母語としない人へのサービスを充実させるため、図書館 HP に多言語の利用案内や音声情報を掲載します。【学ぶ力】 4. 各館で設置しているティーンズエリアの発展、広報に取り組みます。【学ぶ力】

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. インスタグラムによる情報発信等新たな広報手段を構築	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	広報力を強化し、いろいろな層に効果的に情報を発信できるようにする。
内容	・インスタグラムアカウントを作成し、画像、動画による情報等を発信する。 ・市内向け広報の「仕事に役立つ 1 冊」をリニューアルして発行する。 ・報道提供等外部媒体への発信を積極的に行う。
効果	幅広い年齢層に様々な情報を積極的に発信することで、市民の図書館への理解を深め、利用を促進する。
指標	インスタグラム発信数、仕事に役立つ 1 冊発行数、外部媒体への情報提供数

2. 行政資料を電子図書館のコンテンツとして収集・公開する仕組みの構築	
サービスの具体的な方向性	⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
目的	堺市独自の電子図書館資料として行政資料を収集・公開する仕組みを構築し、堺の情報の発信と継承に貢献する。
内容	行政部門の各部署が作成した計画・要覧等の行政資料を堺市独自の電子図書館資料として収集し、公開する仕組みを構築する。
効果	毎年定期的に作成される行政資料を電子図書館で体系的・網羅的に収集・公開することで、紙媒体の図書館資料と一括して検索できる仕組みが構築される。従来図書館で紙媒体でしか提供していなかった行政資料がデジタルで公開されることで、市民に限らず国内外の人々が堺のことを知り、学ぶことができるようになる。
指標	堺市独自資料コンテンツの公開件数・閲覧数

3. ホームページコンテンツの追加、見直し	
サービスの具体的な方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	障害者や日本語を母語としない人にも学びやすい環境を作る。
内容	・図書館ホームページに多言語による利用案内を掲載し、資料の紹介を行う。 ・図書館ホームページに音声による案内を掲載し、利用しやすいよう構成を見直す。
効果	日本語を母語としない人や、視覚に障害のある方にも図書館の利用方法を理解してもらえ、図書館の利用につながる。
指標	全館の外国語資料の貸出冊数、電子図書館の音声対応資料の貸出数

4. 高校生や 10 代を対象とした事業の実施	
サービスの具体的方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	青少年にとって魅力的な事業や資料提供を実施することで、青少年がすすんで図書館を利用し、学ぶ場所として活用する。
内容	青少年による本の紹介や、創作・情報発信の場の提供など、高校等と協同して事業を実施する。
効果	同年代の参加する事業を行うことでその世代のニーズを把握し、青少年が魅力を感じる資料提供や企画等が実施できる。
指標	事業実施回数

令和 4 年度 中区図書館の取組み目標

定量的指標	令和 3 年度	令和 4 年度	前年度比
貸出点数	348,173 点	点	%
区民千人当たり	2,907 点	点	%
予約点数	15,169 点	点	%
区民千人当たり	127 点	点	%
レファレンス受付件数	5,554 件	件	%
区民千人当たり	46 件	件	%
来館者数	166,028 人	人	%
区民千人当たり	1,386 人	人	%

※中区人口 人(令和 5 年 4 月 1 日推計)

※中図書館、東百舌鳥分館を含む

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題
・プラネタリウムや平和と人権資料館と連携した取組みを今後も大切にするよう意見をいただきました。ソフィア・堺内の施設とさらに連携を強化し、相互に利用を活性化する必要があります。 ・中図書館の中心的な利用者層に偏らない、あまり図書館を利用しない方も参加していただける講座の開催が求められています。 ・中基幹型包括支援センターとの協力事業について評価をいただきました。今後も社会的課題である「介護」や「認知症」に関して積極的な発信を行う必要があります。

今年度の目標
市民のくらしに役立つ資料・情報の提供に取り組むとともに、複合施設にある強みを活かし、図書館の利用が活発になるよう以下の取組みを実施します。 1. ソフィア・堺内の「プラネタリウム」や「平和と人権資料館」とともに、「中文化会館」や「教育センター」との連携も深め、相互に利用が活性化するよう取組みを進めます。【 学ぶ力 】 2. 保護者向け講座を開催します。開催にあたっては、親子で取り組むことのできるテーマを設定し、普段図書館を利用しない保護者や児童の参加を促進します。【 学ぶ力 】 3. 中基幹型包括支援センターなどとの協力事業を継続して行います。【 育む力 】

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 「ソフィア・堺」の各施設との連携の強化	
サービスの具体的な方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	ソフィア・堺内にある各施設と連動した取組みを実施し、市民が多角的に学ぶ機会を提供する。
内容	ソフィア・堺内の中文化会館、プラネタリウム、平和と人権資料館などの企画と連動したブックフェア等の開催や各施設から図書館への誘導など、各施設と図書館が連動した取組みを実施。教育センターの教員研修時に中図書館の教育情報コーナーのPR出展。
効果	多角的な学びの機会を提供することにより、各施設と図書館の利用を促進し、相互の施設の利用活性化を図る。
指標	ブックフェア等の取組みの開催数

2. 保護者向け講座の開催	
サービスの具体的な方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	市民に学びの機会を提供し、家族と一緒に考える機会を提供する。
内容	保護者向け講座として「親子で学ぶ！『発見・堺市の自然』 知ることから始めよう生物多様性」講座を開催。保護者に Web サイト「堺いきもの情報館」を紹介し、子どもと一緒に堺の生き物への関心を高めてもらう機会をつくる。あわせて、8月の期間、図書館内で、生物多様性企画展(パネル展示)および図書館資料のブックフェアを行う。
効果	子どもと一緒に学び考え、絆を深めていただくことで保護者の子育てを支援する。 また、普段図書館を利用しない方にも来館していただく機会を作るとともに、関連する企画展やブックフェアの開催を通じて、図書館の有用性を知っていただき利用促進を図る。
指標	保護者向け講座の参加者アンケートにおける知識の深まり度合及び図書館の定期利用者ではない参加者の割合

3. 中基幹型包括支援センターなどとの協力事業	
サービスの具体的な方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	専門機関と連携し、介護予防や認知症に係る支援情報や関連情報を市民に提供することで、要介護者や認知症の方又はその家族や介護者を支援するとともに、市民が関心をもつ機会を作る。
内容	中基幹型包括支援センターと協力し、「認知症パネル展」「介護予防パネル展」を実施。また、「認知症パネル展」の関連企画として親子で認知症に関心をもつていただくイベントや専門家を招いて家族の介護や自身の老後の不安やストレスを軽減するための「課題解決支援講座」を開催。
効果	要介護者や認知症の方又はその家族や介護者を支援するとともに、家族の介護や自身の老後に不安を抱える市民に介護制度やストレスに関する知識を深めてもらう。
指標	課題解決支援講座の参加者アンケートにおける知識の深まり度合

令和4年度 東区図書館の取組み目標

定量的指標	令和3年度	令和4年度	前年度比
貸出点数	364,747 点	点	%
区民千人当たり	4,313 点	点	%
予約点数	27,261 点	点	%
区民千人当たり	322 点	点	%
レファレンス受付件数	7,038 件	件	%
区民千人当たり	83 件	件	%
来館者数	214,728 人	人	%
区民千人当たり	2,539 人	人	%

※東区人口 人(令和5年4月1日推計)

※東図書館、初芝分館を含む

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題

- ・「魅力ある書架の構築」「関係部局との連携によるブックフェア」に関し、良い評価、および、さらに積極的な取り組みをとのご意見をいただいた。書架の維持は広範囲かつ継続的な業務であり、ブックフェアも「魅力ある書架」につながることから、いずれも計画的に行い、日常的に取り組む必要がある。また、広報の強化が必要であるという全体へのご意見があったが、東区では Twitter の発信が少なく、日常的な業務や定例ブックフェアなどの広報を仕組化する必要がある。
- ・講座の実施については、事業の効率性という視点において自主評価では「見直し」としたが、対象者の意見を反映した講座企画の検討を望むとのご意見をいただいた。

今年度の目標

- ・東区の知の拠点として資料・情報の充実を図り、利用者の潜在的なニーズを満たすような機会の提供に重点的に取り組み、以下の目標を達成します。
1. 魅力ある書架の構築の一環として、地域資料コーナーの特設棚をリニューアルします。
 2. 多様な課題の周知・解決のため、関係部局と連携してブックフェア等を実施します。新たな機関との連携を企画し、既に連携がある機関とは内容のブラッシュアップを行います。また、ブックフェアに関する Twitter の発信回数を増やします。
 3. 市民の学びのため、課題解決支援講座を実施します。講座参加者アンケートでの満足度を80%以上とします。
 4. 市民協働の推進のため、堺図書館サポーター倶楽部の活動支援を行います。サポーターステップアップ講座での満足度を80%以上とします。また、東図書館で活動するサポーターに対し、活動しやすい環境や機会を提供します。

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 魅力ある書架の構築	
サービスの具体的な方向性	⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
目的	利用者が地域資料を選びやすい書架を作成する。
内容	地域資料コーナーの特設棚をリニューアルし、特に東区やその周辺地域について調べやすい棚を増設する。
効果	通常の配架では目立たない地域資料をとりあげ、別置することで利用を促進させる。
指標	特設棚の貸出数(前年度比)

2. 関係部局との連携によるブックフェア等の実施	
サービスの具体的な方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	多様なテーマに合わせた資料・情報を提供し、地域の課題解決をはかる。
内容	ビジネスパーソンや学生が多く利用する北野田駅前という立地を活かし、また、高齢化率が市内で3番目に高いという東区の特性にあわせて関係部局等との連携を行い、展示・ブックフェア等を実施する。 新たな機関との連携を企画し、既に連携がある機関とは内容のブラッシュアップを行う。また、Twitter の発信を増やし来館を促す。
効果	様々なテーマで関係部局と連携して資料・情報を提供し、市民の学びの機会を増やすことで、地域の課題解決をはかる。
指標	連携ブックフェア開催数、連携機関数

3. 講座の実施	
サービスの具体的な方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	市民の学びの機会を提供し、課題解決につなげる。
内容	高齢化率が30%を超え市内で3番目に高いという東区の特性にあわせて課題解決支援講座を開催する。講座開催に前後してブックフェアや関連情報の提供を行う。
効果	シニア世代が持つ課題の解決等につなげる。講座に関連した情報提供を行うことで、関連分野の利用促進を図る。
指標	参加者アンケートにおける課題解決満足度

4. 堺図書館サポーター倶楽部への活動支援	
サービスの具体的方向性 ⑧市民交流の場を作ります。	
目的	図書館や図書館活動に対して高い関心をもつ市民を増やす。
内容	全館の堺図書館サポーターの知識とスキルを高めるため、堺図書館サポーターステップアップ講座を開催する。また、東図書館における堺図書館サポーターに対し、定期的な活動を計画し、新しく入会された方に声かけするなど活動しやすい環境や機会を提供する。
効果	堺図書館サポーターの知識やスキルを高めることで、図書館や図書館活動に対し高い関心や愛着をもつ市民を増やすことができ、そうした市民同士の交流が地域の文化活動を支える基盤となる。
指標	参加者アンケートにおけるステップアップ満足度 東図書館における堺図書館サポーターの、のべ活動人数

令和4年度 西区図書館の取組み目標

定量的指標	令和3年度	令和4年度	前年度比
貸出点数	300,240 点	点	104.9 %
区民千人当たり	2,238 点	点	105.6 %
予約点数	16,058 点	点	103.3 %
区民千人当たり	120 点	点	104.3 %
レファレンス受付件数	4,285 件	件	133.4 %
区民千人当たり	32 件	件	133.3 %
来館者数	127,837 人	人	116.8 %
区民千人当たり	953 人	人	117.5 %

※西区人口 134,133 人(令和4年4月1日推計)

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題

- ・学びと交流の広場の利用を促進する取組みを通し、図書館利用を促進するとともに、利用者やグループ同士での交流につなげていきます。
- ・専門家と連携した相談事業の開催や関係機関との連携によりブックリストを作成し、オンラインでの発信だけではなく、オンラインツールを利用しにくい市民を想定し、地域活動の場を利用したアプローチを行います。
- ・大学・医療機関との協力によるキャプション評価(環境評価手法)※ 実施を施設改善に反映していきます。

※施設を利用する人がそれぞれ気になる場所や物を写真に撮り、それらにキャプション(説明)を付けることにより、その場所(施設)の評価をする。参加・行動型の調査方法

今年度の目標

1. 関係団体と連携し「学びと交流の広場」で事業を実施し「学びと交流の広場」の利用を促進することで、図書館の施設利用につなげるとともに、市民の学びと交流を支援します。【育む力・学ぶ力】
2. 医療機関、教育・子育て関連施設と連携した事業実施、情報提供を行います。【育む力・学ぶ力】
3. キャプション評価などによる施設改善を行い、誰もが安全で快適な読書環境を享受できる運営を行います。【創る力】

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 関係団体と連携した事業実施	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	「学びと交流の広場」と図書館施設の利用促進。
内容	・ボランティアと協同で西図書館まつりを開催。 ・図書館事業協力団体等の主催行事や学習支援活動への協力。 ・近隣子ども園、子育てサークル等への訪問を実施し施設の利用を促進。 ・図書館関係活動への場の提供。 ・学校図書館の協力を得てティーンズ向け資料展示実施。 ・「ほんのえき」資料の寄贈呼びかけ 「みんなでつくろう“え”ほんのえき」を実施。
効果	・「学びと交流の広場」の利用促進。 ・図書館施設の利用促進。 ・乳幼児の「ほんのえき」利用増加及び「ほんのえき」資料の充実。
指標	事業開催数／来館者数

2. 医療機関、学校、地域施設と連携した事業実施、情報提供	
サービスの具体的な方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	暮らしに役立つ情報を提供する。
内容	・まちの保健室の健康子育て相談事業の定期開催。 ・専門家と連携したブックリストの作成と地域へのPR。 ・地域子育てサロン、学校、保健センター、地域包括支援センターの事業への読み聞かせや出張講座、ブックトーク、資料展示の実施。 ・健康福祉プラザ、国立がん研究センター、堺市立総合医療センターとの連携事業における医療情報提供。
効果	・専門家と連携した情報提供により地域住民の健康増進への意識を向上。 ・地域施設での出張講座等を通じて読書活動、図書館利用を促進。 ・「学びと交流の広場」の利用促進。
指標	行事参加者数／来館者数／レファレンス件数

3. 読書バリアフリーの観点から読書環境を改善	
サービスの具体的方向性 ①市民の読書環境の充実にさらに努めます。	
目的	誰もが図書館を利用しやすいよう環境改善やコーナーづくりを行い、読書バリアフリーの観点をもって読書環境を改善します。
内容	・6月7日に浅香山病院認知症疾患センター若年性認知症グループ、および関係者にキャプション評価をおこなってもらい、いただいた意見を参考にサインなどを変更。 ・LLブック等を選定・収集し常設のコーナーを設置。
効果	図書館の利用に不便を感じている若年性認知症の当事者目線からの意見を施設サインなどに反映することで、誰もが利用しやすい施設運営を行います。
指標	施設満足度

令和4年度 南区図書館の取組み目標

定量的指標	令和3年度	令和4年度	前年度比
貸出点数	631,786 点	点	%
区民千人当たり	4,673 点	点	%
予約点数	49,377 点	点	%
区民千人当たり	365 点	点	%
レファレンス受付件数	13,769 件	件	%
区民千人当たり	102 件	件	%
来館者数	343,050 人	人	%
区民千人当たり	2,537 人	人	%

※南区人口 人(令和5年4月1日推計)

※南図書館、桐分館、美木多分館を含む

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題

- ・地域ニーズや特性をふまえ、日本語学習資料や南区・泉北地域に関連する資料の提供を行ってききましたが、さらに区民が身近に感じ、関心をもていただける情報発信、提供が必要です。
- ・ICTを活用した情報提供として、学習ルームの混雑状況を発信する「混雑ランプ」の運用を開始しましたが、図書館ホール・集会室の施設利用業務もデジタル化を推進する必要があります。

今年度の目標

「ひとを育み、共に学び、未来を創る力を市民とともに生み出す知の拠点」を実現するため、「南区基本計画」・「SENBOKU New Design」に基づき、地域の歴史文化にふれる機会の拡充や子どもの読書活動の推進を通じて区の子育て、教育環境の充実に努めます。

1. 地域の知の拠点としての蔵書構築に取り組みます。【育む力・創る力】
2. 歴史や文化にふれる機会を拡充します。【学ぶ力】
3. 図書館ホール、集会室の施設利用業務について、ICT イノベーション推進室と連携し、行政サービスのオンライン化推進に向けた取組を進めます。【学ぶ力】
4. 区内関連機関を始め、他機関との連携に努めます。【育む力・学ぶ力】

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 地域の知の拠点をめざした多様な資料の収集、提供	
サービスの具体的な方向性 ①市民の読書環境の充実にさらに努めます。	
目的	専門的資料や外国語資料、非売資料など特色ある資料を充実させることにより、思わぬ本との出会いの場を創出。
内容	・分担収集分野を中心に主題を掘り下げた専門的資料の収集、提供。 ・英語多読資料コーナーの設置。 ・区内所在大学刊行物(紀要)コーナーの設置。
効果	普段書店では見かけることのない本との出会いの場となることで、新たな気づきや学びを得られ、図書館の魅力発信につながる。
指標	ブックフェア実施回数、利用者アンケート満足度調査

2. 歴史や文化にふれる機会の拡充	
サービスの具体的な方向性 ⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。	
目的	区の重要取組のひとつである「子育て・教育環境の充実」をふまえ、子どもが主体的に参加できるイベントや歴史・文化の体験を通じて地域の魅力を実感するイベントを実施。
内容	・考える力を伸ばす子ども向け体験講座の実施。 ・地域の歴史・文化を体験できる講座の実施。
効果	講演等の一方向のイベントでは得られにくい実体験を通じて、子どもの好奇心を育てる。また、体験を通じて歴史や文化をより身近に感じることができる。
指標	参加者数、参加者アンケートの満足度

3. 図書館ホール、集会室施設利用のオンライン化推進に向けた取組の実施	
サービスの具体的な方向性 ⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。	
目的	図書館ホール、集会室の施設利用業務について、オンライン化をすすめることでのサービス向上をめざす。
内容	ICT イノベーション推進室と連携し、行政サービスのオンライン化推進に向けた取組(システム化、運用、例規改正の検討調整等)を進めます。
効果	市の方向性である行政サービスのオンライン化の推進、オンライン化実施、運用開始できた際の利便性向上。
指標	オンライン化進捗状況

4. 区内関連機関を始めとする他機関との連携推進	
サービスの具体的方向性 ③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。	
目的	区の基本計画に基づき、昨年度に引き続き区役所、堺市立ビッグバン等の周辺施設、教育機関、関連機関等との交流や連携を継続実施。
内容	・区役所、保健センターとともにハッピーファーストブックの参加者アンケート実施。 ・ビッグバンを会場としたイベントの実施。 ・その他教育機関、関連機関等との展示やブックフェアによる連携。
効果	図書館外の関連機関と連携した事業やイベントを実施することにより、図書館サービスのさらなる周知を図るとともに、連携する機関を当館でも広報することにより、相乗効果をもたらす。
指標	連携した機関数

令和4年度 北区図書館の取組み目標

定量的指標	令和3年度	令和4年度	前年度比
貸出点数	475,798 点	点	%
区民千人当たり	3,000 点	点	%
予約点数	25,355 点	点	%
区民千人当たり	160 点	点	%
レファレンス受付件数	5,725 件	件	%
区民千人当たり	36 件	件	%
来館者数	193,432 人	人	%
区民千人当たり	1,220 人	人	%

※北区人口 人(令和5年4月1日推計)

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題
・ 昨年度設置した児童向けの参考図書を集めた「しらべるコーナー」をより良いものにしていくため、新しく出版された資料の把握に努めるとともに、子どもたちの興味のあるテーマに沿った資料選びをし、定期的に入れ替えを行っていく。 ・ 子ども司書養成講座について、その場限りの集まりで終わるのではなく、受講修了者がその後も継続して活躍できるような仕組みを考えていく。 ・ 利用者が来館しなくても参加できる事業により、利用者層の裾野を広げることにつながるよう、さらなるアイデアで取り組んでいく。 ・ 子育てに役立つ情報について、SNSを活用して発信していく必要がある。

今年度の目標
新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し、市民のくらしに役立つ資料・情報の提供に重点的に取り組み、以下の目標を達成します。 1. 子ども司書養成講座では、図書館の活用法をレクチャーし、本の楽しさを伝えます。また、魅力ある書架づくりをすることで、子どもたちの読書支援につなげます。【育む力・学ぶ力】 2. コロナ禍で実施が困難になっている行事の代わりに、利用者が来館しなくてもできるサービスを実施することで読書活動の推進につとめます。【創る力】 3. 子育て世代が必要とする情報や知識を提供できるよう「子育て支援情報コーナー」の充実に取り組みます。また保護者向け講座等を実施して、子育て支援サービスにつとめます。【育む力・学ぶ力】

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. 子どもの読書活動の推進	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	子どもの主体的な学習活動の支援、図書館利用の促進。
内容	子ども読書の日記念事業として小学校に訪問し、おはなし会を実施する。 児童書の書架のレイアウトを変更するとともに拡張し、わかりやすく魅力ある書架づくりに取り組む。 また、子ども司書養成講座を実施し、百科事典の使い方や図書館の活用法を伝える。子ども司書が活躍できる場を提供し、継続的な活動を支援する。
効果	おはなしや絵本の実演をきっかけに、図書館や本の魅力を子どもたちに知ってもらう。 子ども司書養成講座で本の紹介文を書いてもらい、HP等で紹介し、多くの人におすすめ本を知ってもらうことで、図書館の利用促進につなげる。
指標	児童書の貸出冊数 子ども司書養成講座の参加者数およびアンケート回答数・子ども司書の活動回数

2. 利用者が来館しなくても参加できる事業の実施	
サービスの具体的方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	来館に不安のある方、来館が難しい方の利用促進と読書推進。
内容	図書館ホームページや電子申請を活用し、非来館イベントとして、投票企画や参加企画を実施する。広報は北区とも連携して実施する。
効果	ホームページなどを活用して、非来館イベントに参加してもらうことで、来館に不安がある、または来館が難しい場合でも図書館に親しんでもらうことができる。また北区のホームページ等でも発信することで、図書館を利用していない市民が図書館へ興味をもつ機会をつくることができる。
指標	開催数・参加者数 イベント参加者アンケートでの非来館イベントに対する評価

3. 子育て支援サービスの充実	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	子育て世代が気軽に来館でき、様々な情報を収集できる場として図書館利用を促進する
内容	子育て関連資料を積極的に収集し、「子育て支援情報コーナー」でのミニブックフェアの実施等を通じて広く利用していただく。また保護者向け講座を実施し、子育ての参考になる情報を提供する。
効果	子育て世代に向けて情報発信やコーナーの充実をはかることで、図書館の利用促進や読書推進につなげる。
指標	ミニブックフェアの開催数、子育て支援資料の貸出点数 保護者向け講座の参加者数・満足度

令和4年度 美原区図書館の取組み目標

定量的指標	令和3年度	令和4年度	前年度比
貸出点数	252,347 点	点	%
区民千人当たり	6,814 点	点	%
予約点数	10,819 点	点	%
区民千人当たり	292 点	点	%
レファレンス受付件数	5,138 件	件	%
区民千人当たり	139 件	件	%
来館者数	92,444 人	人	%
区民千人当たり	2,496 人	人	%

※美原区人口 人(令和5年4月1日推計)

令和3年度図書館サービス評価を踏まえての課題
・近隣に高校が2校ある、区役所や保健センターに近い、農業人口が多いなどの地域の特性に合わせて、ティーンズエリアや子育て支援コーナーの充実、農業関係資料の収集等に取り組んでいるが、図書館サービスの周知にはまだまだ課題がある。広報や連携による認知度向上と利用の増加をはかる。 ・来館した利用者が利用しやすいよう、環境の整備を行う。意見をいただいたティーンズエリアの充実にも努める。 ・新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、安全・安心な環境で講座等の事業を実施する。

今年度の目標
新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少が大きい中、新規利用者を増やすとともに、来館した利用者の満足度向上と利用拡大を目的として、以下の取組を実施します。 1. 図書館外での図書館事業の情報発信を積極的に行い、より効果的に情報が届くよう既存の事業についても発信方法や内容の見直しを図ります。 2. 書架の配置や内容について、現在の社会環境やニーズを鑑み見直しをおこないます。 3. 新型コロナウイルス感染症への対策による安心・安全を大前提とし、各行事を実施することにより地域の図書館の存在をアピールします。

【目標に向けた具体的取組み内容】

1. あらゆる機会を捉えて地域の図書館の存在をアピールし、新規利用者を増加させる	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	地域における利用ニーズをとらえ、図書館利用を増加させる。
内容	近隣の学校園や各施設、今年開業予定のららぽーと堺などとの新たな連携を図り、在住・在勤・在学者や近隣施設の利用者など潜在的利用者を実際の利用に結び付ける。
効果	地域住民や地域の施設を利用する市民等に、地域の知の拠点としての図書館の存在と生活の充実、課題解決に資する役割を認識してもらい、利用を促進する。
指標	連携先、連携方法の新規開拓 利用者数、新規登録者数

2. 各分野の書架の見直し	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	来館した利用者が探しやすく使いやすい書架構成にすべく、根本的な見直しをはかる。
内容	出版状況、教育内容の変化により、子どもの知識欲を満たす・調べ学習に利用するための児童書が増加し、書架に収まらなくなっている状況を、一般書の見直しや空きスペースの調整を行うことで解消する。 ティーンズエリアなどそれ以外の書架についても、利用者の利便性向上と職員の業務効率化の観点から見直しを図る。
効果	現状に即した書架構成や、ゆとりのある見やすい書架づくりによって、利用者の利便性向上、ひいては利用促進に繋げる。 職員にとっても排架や書架整理、資料請求の対応等がより効率的に行える。
指標	児童書のうち、えほん・よみものではない主題のある資料の書架本数 ティーンズエリア内特集棚の拡大、ブックフェアコーナーの目立つ場所への移動 ティーンズエリアの貸出点数 児童書の貸出点数

3. 伊東静雄没後 70 年記念事業の実施	
サービスの具体的な方向性	⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
目的	美原区にゆかりのある詩人に関する講演会等の事業を行うことにより、地域に対する関心を高めるとともに、地域資料の利用を促進する
内容	晩年美原に居住し、その風景を歌った浪漫派詩人・伊東静雄の没後 70 年を迎えるにあたり、講演会など関連事業を実施する。
効果	本事業を契機として、利用者が地域の歴史や文化に関心を持ち、理解を深める。 地域資料コーナーや伊東静雄コーナーを周知し、利用促進に繋げる。
指標	関連事業の参加者数 講演会の参加者満足度